

科目名	社会と経済（韓国）	科目コード	1144	単位数	2
担当者名	水野 俊平	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

●授業のねらい

この講義は「躍動する北東アジア地域の発展に貢献する」という本学の方針、および「国際的視野に立つ異文化コミュニケーション能力の涵養」という本学の学位授与方針に立脚して、第2セメスターにおいて大田大学校に短期留学する在学学生を対象とした講義（課題）である。留学対象地域の文化を理解し、紹介者の立場で韓国の飲食店（をはじめとする商業施設）を紹介できるようにすることが授業のねらいである。また、提出されたレポートは次年度の派遣学生の教育にも活用される。

●到達目標

- 韓国人との人間関係の構築方法を日本人の視点から観察する。
- 留学対象地域の飲食店（をはじめとする商業施設）を日本人の視点で観察する。
- 韓国で流行している言葉・風物を日本人の視点で観察する。
- 留学時に事前に準備しておくべき物品・言語表現などを留学者の視点で（後輩のために）作成する。
- 帰国後、教務に提出する留学レポートを作成する。
- 帰国後、留学成果報告会で発表する資料（パワーポイント）を作成する。

●授業内容

- 1週目 レポート作成：自分が推薦する大田の名所を紹介する（調査・日本語作成）。
 - 2週目 レポート作成：自分が推薦する大田の名所を紹介する（韓国語作成）。
 - 3週目 レポート作成：現在、韓国で流行している社会風俗を紹介する（調査・日本語作成）。
 - 4週目 レポート作成：現在、韓国で流行している社会風俗を紹介する（韓国語作成）。
 - 5週目 レポート作成：韓国で生活するに当たり、持参したほうがいい物品について述べる（調査・日本語作成）。
 - 6週目 レポート作成：韓国で生活するに当たり、持参したほうがいい物品について述べる（韓国語作成）。
 - 7週目 レポート作成：韓国人との人間関係形成について、留意すべき点を論述する（調査・日本語作成）。
 - 8週目 レポート作成：韓国人との人間関係形成について、留意すべき点を論述する（韓国語作成）。
 - 9週目 レポート作成：韓国での団体生活について、留意すべき点を論述する（調査・日本語作成）。
 - 10週目 レポート作成：韓国での団体生活について、留意すべき点を論述する（韓国語作成）。
 - 11週目 レポート作成：自分が推薦する韓国の料理について述べる（調査・日本語作成）。
 - 12週目 レポート作成：自分が推薦する韓国の料理について述べる（韓国語作成）。
 - 13週目 レポート作成：自分が感じた日韓の生活文化の差について述べる（調査・日本語作成）。
 - 14週目 レポート作成：自分が感じた日韓の生活文化の差について述べる（韓国語作成）。
 - 15週目 レポート作成：帰国後、教務担当者に提出する留学レポートを作成する（日本語）。
- 16週目 レポート作成：帰国後、教務担当者に提出する留学レポートを作成する（韓国語）。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行う。

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

帰国後、留学報告会で発表する資料（パワーポイント）もあわせて作成すること。レポートの作成時間が予習に当たるが、事前調査を含めて3時間以上の時間をかけることが望ましい。レポート回収後、韓国語で作成された内容は添削されて返却され、指摘された箇所を修正して提出すること。この修正が復習に当たるが、2時間以上の時間をかけて修正するのが望ましい。

●成績評価の方法・基準

～ のレポートは日本語で作成し、word文書のファイルで提出すること。～ のレポートはそれぞれ25点に換算して採点する。～ は留学成果報告会の席上で発表・提出。

●履修上の留意点

レポートはwordで作成し、メールに添付して提出すること。

●課題に対するフィードバックの方法

帰国後、教務担当者に提出する留学報告書は大田大学校出発時に回収する。担当教員は千歳空港到着前までにすべての文章を添削するので、千歳空港で受領後、2月20日（暫定）の修了式までに修正し、ワードファイル形式で提出すること。

●テキスト

特になし。現地で入手できる観光ガイドブック、料理書などを参照すること。

●参考書

小西明子、徐銀河『日記を書いて身につける韓国語作文』ベレ出版

●更新日付

2022/03/04 02:43